

地域ネットワーク ニュース 第9号

▼はじめに

このニュースレターは、八戸市連合町内会連絡協議会での取り組みや八戸市内の連合町内会・町内会・自治会での活動などを紹介し、相互の情報共有や各町内会等での活動に役立てていただくこと、さらには、市民の皆さんにもお読みいただき、町内会の活動への関心を高めていただくことを目的に発行するものです。

内容

- 1 八戸市連合町内会連絡協議会総会開催 1ページ
- 2 地域の活動紹介 2-3ページ
- 3 八戸市からのお知らせ 4ページ

平成27年度 八戸市連合町内会連絡協議会総会を開催

平成27年6月23日（火）、八戸グランドホテルにて、『八戸市連合町内会連絡協議会総会』が開催されました。

総会では、26年度事業報告、27年度の事業計画が、原案どおり承認されました。

今年度は、町内会加入促進月間の制定や地域コミュニティ活性化に向けた企業との懇談会などの新規事業に取り組み、更に活動を強化していきます。

また新理事に、根城地区連合町内会の柳谷会長と白銀振興会の荒川会長が選任され、副会長に下長地区連合町内会の中川原会長が選任されました。

平成 27 年度事業計画（主なもの）

1. 加入促進事業

- ・町内会加入促進月間の制定（新規）
- ・地域コミュニティ活性化に向けた企業との懇談会（新規）



2. 組織強化事業

- ・地域リーダー応援講座の開催
- ・町内会だよりコンクールの実施
- ・地域ネットワークニュースの発行



3. 普及・啓発事業

- ・ホームページ運営
- ・地域コミュニティ情報コーナーの運営



＜平成 27 年度役員＞

会長	北山 博秋（館地区連合町内会）
副会長	堰端 治（島守地区自治会連合会）
〃	中川原 武（下長地区連合町内会）
理事	北山 良二（沼館・城下振興会）
〃	類家 秋男（柏崎地区連合町内会）
〃	柳谷 強（根城地区連合町内会）
〃	荒川 繁信（白銀振興会）

地域の活動紹介 その1

山ノ手町内会の今！



～鮫地区にある『山ノ手町内会』の現在の活動状況を紹介します～

- ・鮫地区にある山ノ手町内会は、平成23年に一度は解散したものの、平成26年7月に復活しました。
- ・現会長の小金山さんは、「町内会がなくなると、住民同士のコミュニケーションがなくなってしまったり、防犯灯が消えて町内が真っ暗になったり、ごみ集積所が荒れたりと、生活する上で基礎的な部分に影響が出た。一度なくなってしまった町内会を立ち上げるには苦労したが、今は再結成して本当に良かった。」と話します。
- ・町内会再結成後、住民の協力を得ながら活動している現在の状況についてお話を伺いました。



山ノ手町内会
会長 小金山 和人 氏



空き家を活用して“交流の場”づくり

これまで山ノ手町内会には、集会所がありませんでした。町内の集会には公民館を利用していましたが、高齢者が増えている状況から、近くに集まる場所がないかと考えていたところ、町内のちょうど中心に位置する場所に空き家（一軒家アパート）があることが分かりました。

早速、大家さんに交渉したところ、町内のためにと快く提供してくれました。

家屋の補修から掃除を皆で手分けして行い、机・椅子などの備品も持ち寄りました。

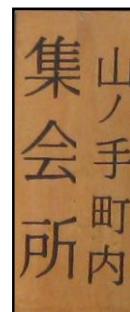
こうして生まれ変わった集会所は、平成27年4月より交流の場として利用されています。

集会所では、役員・班長会議や総会が行われたほか、今年の5月には住民自ら講師を務めるレザーラフト教室を開催しました。11名の参加があり、とても好評だったため今後も定期的に開催する予定です。

夏には集会所の庭でバーベキューの企画があるなど、コミュニケーションの場として今後の活用が大いに期待されています。



◆山ノ手町内会 集会所◆



◆会長さん手作りの掲示板と看板◆



◆レザーラフト教室の様子◆



地域の活動紹介 その2

地域の人材・資源を活用



アイディア満載！カラス被害もなくなった！？

山ノ手町内では、ごみ集積所に工夫を凝らしています。

一つは、折りたたみが出来るボックスです。このボックスは班長の木村さんが作成してくれました。ごみの回収後には折りたたむため、車の通行の邪魔になりません。

もう一つは、ブックスタンド式の集積所です。こちらは舟の廃材を利用して会長自ら作成しました。ごみの量によって幅を調整することが可能で、ごみ回収後は横にして収納します。

集積所の工夫は、ごみ捨てマナー向上のきっかけにもなりました。皆がきれいに使うことによって、今ではカラスの被害がほとんどなくなったということです。



◆班長作成“折りたたみ式”的ボックス◆



◆会長作成“ブックスタンド式”的集積所◆
使用時は、ブルーシートを被せます。



町内新聞もつくりました！

山ノ手町内会では、平成27年6月に町内新聞を作成、創刊号を発行しました。町内会活動を理解してもらい、より多くの参加者を増やすためには、町内会でどんなことをやっているのかを知つてもらうことが重要と考え、作成することに決めました。

原稿は、町内の若手2名による広報委員が作成し、町内に住むお寺の住職さんに文面のチェックをお願いしています。また、創刊号の作成にあたっては、昨年度行われた「町内会だよりコンクール」の表彰作品を参考にしたということです。

紙面は、適切な段組と見出いでとても読みやすく、写真を使って内容が分かりやすく伝わってきます。町内新聞は、今年度3回の発行を予定しています。



◆町内新聞「やまノて通信」 創刊号◆

山ノ手町内会では、地域にある資源、それぞれの人が持つ特技やこれまで仕事で培った知識、経験、アイディアを活かしながら活動しています。





～ 八戸市からのお知らせ ～



来年度（平成28年度）から八戸市町内会等振興交付金が更に拡充されます！

～ 実施活動の記録を忘れずにお願いします～

八戸市では、町内会による地域コミュニティ活動を交付金により支援しており、今年度より制度内容を拡充しておりますが、来年度（平成28年度）交付金から、更に地域の防災活動・除雪活動を行っている町内会に対して、交付金の加算を実施する予定です。

◆ 来年度（平成28年度）の交付金の金額（予定）◆

均等割 20,000円 + 世帯割 200円 × 加入世帯数

+ 平成27年度に実施した加算対象活動の種類数（最大2種類）×100円 × 加入世帯数

◆ 加算対象活動とは ◆

前年度に町内会・自治会が行った次の2種類の活動が対象となります。

※同じ種類の活動を何回行っても（例：除雪を年度内3回実施）、種類数は、1種類となります。

※町内会として、連合町内会、自主防災会等、他の団体が主催する活動に参加する場合も対象となります。

加算対象活動の種類	対象となる町内会活動の例	対象とならない町内会活動の例
1. 地域防災活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、消火訓練の実施 ・防災計画の整備 ・自主防災組織設立に向けた研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「元気な八戸づくり」市民奨励金等他の補助金、助成金を活用して行う事業
2. 地域除雪活動	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の除雪 ・高齢者宅の除雪 ・除雪体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動でない日常的な除雪

◆ 加算対象活動実施内容の記録 ◆

※平成27年度の活動が、平成28年度の交付金加算対象となりますので、町内会で加算対象活動を実施した場合は、実施日、実施場所、実施内容、参加人数を記録しておく必要があります。

詳しくは、市民連携推進課（TEL 43-9182）までお問い合わせください。

編集発行：八戸市連合町内会連絡協議会（事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課）

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1 市庁舎本館4階

電話番号：0178-43-9182 FAX番号：0178-47-1485

電子メール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp

ホームページ：八戸市 トップ>住まい・生活環境>地域活動・市民活動>町内会・自治会>八戸市連合町内会連絡協議会